

2017 年
3/18 (土)

13:00 ~ 18:00
(12:30 開場)

早稲田大学西アジア考古学勉強会創設 25 周年記念シンポジウム

考古学から捉える社会変化 —モノづくりと専門化—

参加無料
申込不要

【会場】

**早稲田大学戸山キャンパス
36 号館 6 階 681 教室**

【電車】 JR 山手線 高田馬場駅から徒歩 20 分
西武新宿線 高田馬場駅から徒歩 20 分
地下鉄東京メトロ東西線 早稲田駅から徒歩 3 分
副都心線 西早稲田駅から徒歩 12 分
【バス】 学バス 高田馬場駅 - 早大正門、馬場下町バス停

学内工事のためご不便をおかけ致します。
⇒正門からスロープを上り右折
33 号館（高層棟）を左手に直進
小道を抜けた広場の先が 36 号館





◇開催主旨◇

早稲田大学西アジア考古学勉強会は、おもに西アジア・エジプトと隣接地域の考古学に取り組む学部生・大学院生・卒業生などからなる集いです。弊会ではテーマ発表をはじめとして、卒論・修論の中間発表や学会研究発表の予行演習の場として機能してきました。学会ほど堅苦しくなく、適度な緊張感もある自主ゼミとして、1991年に立ち上がったから25周年を迎えることとなりました。

このたび、四半世紀にわたり積み重ねられてきた活動と仲間のつながりをもとに、表記のミニシンポジウムを開催することになりました。関心度の高い「モノづくり」と「専門化」をより深く掘り下げていくことを目指しています。西アジアをフィールドとする考古学関係者に留まらず、地域・分野を越えて広くご周知いただければ嬉しく存じます。

◇プログラム◇

司会：山田 綾乃（早稲田大学）

13:00～13:10 開会挨拶・趣旨説明 小泉龍人（東京大学）

13:10～13:40 「中央アナトリアの専門化とろくろ製土器の化学的研究」
高橋友里恵（東京理科大学）・常木麻衣（国土舘大学）

13:40～14:10 「南レヴァント最初期都市社会の形成と専門的生産」
山藤正敏（奈良文化財研究所）

14:10～14:40 「ファラオ・ブランド」の誕生とエジプトの国家形成
―石製容器生産システムの検討から―
竹野内恵太（早稲田大学）・長屋憲慶（金沢大学）

14:40～15:10 「メソポタミアにおける都市と専門化」
小泉龍人（東京大学）

<休憩 15:10～15:25>

15:25～15:55 「冶金関連遺跡からみた中央アジア北部における専門の初現と度合い」
荒友里子（愛媛大学）

15:55～16:25 「ディルムンの起源と専門化の発展」 安倍雅史（東京文化財研究所）

16:25～16:55 「モノづくりと専門化：インダス文明の事例」 遠藤 仁（秋田大学）

16:55～17:45 ディスカッション
コメンテーター：馬場匡浩（早稲田大学）、下釜和也（古代オリエント博物館）

17:45～17:50 閉会挨拶 近藤二郎（早稲田大学）

※当日、一部内容に変更がある場合もございます。

【主催】 早稲田大学西アジア考古学勉強会 【共催】 早稲田大学総合人文科学研究センター
研究部門「社会の複雑化・階層化の史的パースペクティブ」

☎ 03-5286-9772（総合人文科学研究センター）

✉ seminar.westasian.archaeology@gmail.com

【後援】 早稲田大学高等研究所

日本西アジア考古学会

Facebook も開設中！

「西アジア考古学勉強会」で検索

